

令和7年度 英語科及びデジタル科実施状況について

(別紙2)

金沢市立犀桜小学校

①児童アンケート

(1)英語科(小学校5年生:令和8年1月実施)

(%)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
問1	英語科の勉強が好きだ。	30.0	47.0	21.0	2.0	0
問2	英語科の勉強は大切だ。	67.0	26.0	5.0	2.0	0
問3	英語科の授業の内容が分かる。	49.0	47.0	2.0	2.0	0.0
問4	先生や友達に英語で質問することができる。	30.0	47.0	19.0	4.0	0.0
問5	先生や友達の英語の質問に英語で答えることができる。	37.0	40.0	19.0	4.0	0.0
問6	アルファベットの大文字が書ける。	81.0	14.0	5.0	0.0	0.0
問7	アルファベットの小文字が書ける。	81.0	14.0	5.0	0.0	0.0
問8	教科書やピクチャーディクショナリーの単語や英文を書き写すことができる。	72.0	21.0	7.0	0.0	0.0
問9	教科書の単語や英文を読むことができる。	40.0	40.0	19.0	1.0	0.0

(2)デジタル科(小学校1～6年生:令和8年3月実施)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらとも言えない	どちらかと言えば そう思わない	そう思うわない
問1	自分やみんなのことを考えてICTを使うことができる。	56.7	22.2	17.5	2.0	1.7
問2	生活の中で上手にICTを使うことができる。	56.7	22.8	15.4	4.0	1.0
問3	深く広く学習するためにICTを使うことができる。	57.1	22.5	15.8	3.4	1.3

②指導改善の具体策

【英語科】 先生や友だちと質問したり答えたりするやり取りについて、肯定的回答が8割未満になっている。単なるスキル練習にとどまらず、必要感のあるコミュニケーションの場面を具体的に設定していく。また、単元にわたって既習表現を用いてやり取りする場も設定していく。 【デジタル科】 本校では、自分や周囲への影響を考えたICT利用に関する肯定的回答が8割未満である。定期的に利用ルールをクラス全員で見直す機会を設けたり、デジタル・シティズンシップの時間にも相手を思いやるICT利用やネットリテラシー育む指導を重点的に行うようにする。
--

③学校関係者評価

・英語の授業が大切だと考える児童が多く、英語を聞くことや書くことについては自信をもっている児童が多い一方、英語で質問することや、質問に答えることについては、やや自信がないことがわかる。英語に限らず、児童のコミュニケーション力が高まるとよい。 ・SNSの利用については、基本的に家庭の責任が大きい。各家庭で使用の約束をしっかりとすべきである。一方で、子供を取り巻く環境が大きく変化している世の中において、学校でもデジタル教育を進めてほしい。生成AIが当たり前となっている社会において、子供が適切に情報を得て、より良く活用できるように指導してほしい。
--